

令和5年度
「ナッジ理論を活用した
省エネ教育プログラム」
報告書（抜粋）

2024 年 1 月
東京ガス株式会社

※本報告概要は「令和5年度ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラム」報告書から
一部を抜粋したものとなる。

※本報告概要（抜粋）の無断転載・複製・複写を禁じます。

目次

1. はじめに.....	2
2. 実施概要.....	3
3. 実践校における授業実施.....	4
4. 結果.....	7
4.1 CO ₂ 排出量削減実績	7
4.2 児童の声にみる取組状況	7
5. まとめ.....	8
6. 謝辞.....	8

1. はじめに

気候変動問題が年々深刻化してきており、抜本的かつ持続的な温室効果ガス削減が世界的に求められている。日本政府は、2030 年度に 46%（2013 年度比）の温室効果ガスの排出削減、さらには 2050 年までに実質ゼロ（カーボンニュートラル）という目標を掲げている。

この目標の達成に向けては、各産業別に CO₂ 削減率目標が設定されており、とりわけ家庭部門においては 2030 年度までに約 66%減と大幅な削減が必要である。

各自治体においては地域の CO₂ 削減に向けて、市民一人ひとりの環境に対する意識醸成や省エネへの行動変容を促す施策の推進が求められている。目標実現のためには、「省エネ行動」を社会規範として定着していくことが肝要であり、特に学校教育等での子ども世代への取り組みが重要と考える。

そこで、本事業では実行力のある CO₂ 削減効果を伴う省エネ行動変容を促すため、東京ガスが住環境計画研究所と環境省実証事業（※）の一環として開発した「省エネナッジ教育（日本で初めて学校での省エネ教育が家庭の CO₂ 排出量に与える影響を定量的に実証したプログラム）」を実施することとした。

なお、本事業は「令和 5 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（ナッジ手法の社会実装促進事業）」実施要領の遵守、並びに事業実施計画書に基づき実施するものである。

※ 「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ）による家庭等の自発的対策推進事業」
（平成 29 年度から令和 2 年度）

2. 実施概要

東京ガスより講師を各小学校へ6回（6日間）ずつ派遣し、各小学校では、クラス毎に全6回の授業を1週間に1回、6週間で実施した。なお、実施校、実施人数ならびに実施スケジュールを以下に示す。

実施校・スケジュール	学年・クラス	児童数
昭島市立東小学校 (2023年10月31日～12月5日)	5年1組、2組	50人
昭島市立武蔵野小学校 (2023年11月8日～12月20日)	5年1組、2組、3組	86人
昭島市立玉川小学校 (2023年10月1日～11月9日)	4年1組、2組	69人
合計		205人

(2) 昭島市立武蔵野小学校

所在地：東京都昭島市武蔵野2-3-1

対象教科：総合的な学習の時間

実践学年：小学5年生

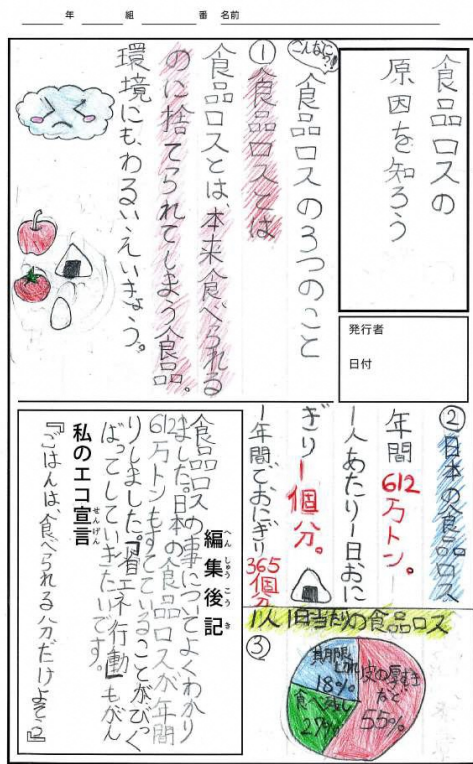
■授業の様子および児童が作成した新聞



省エネ行動トランプ実践の様子



新聞発表の様子



(3) 昭島市立玉川小学校

所在地：東京都昭島市福島町 2-8-1

対象教科：総合的な学習の時間

実践学年：小学4年生

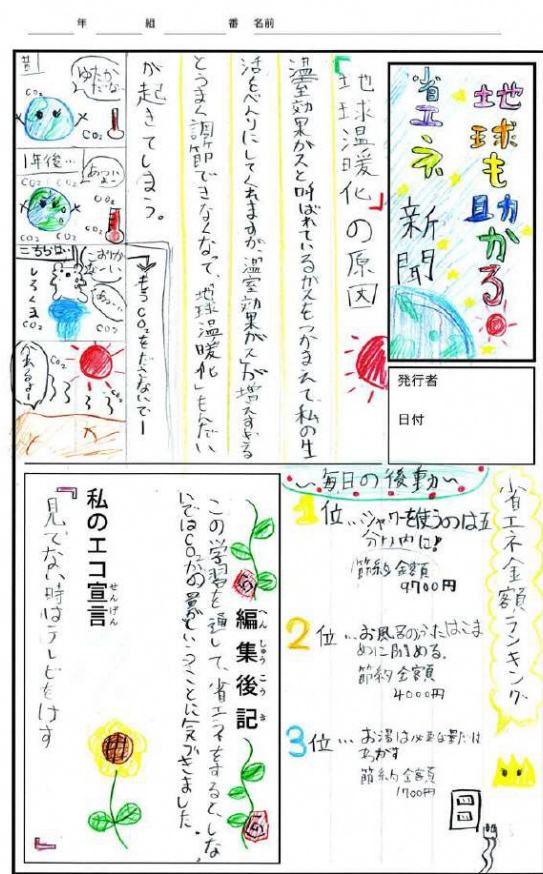
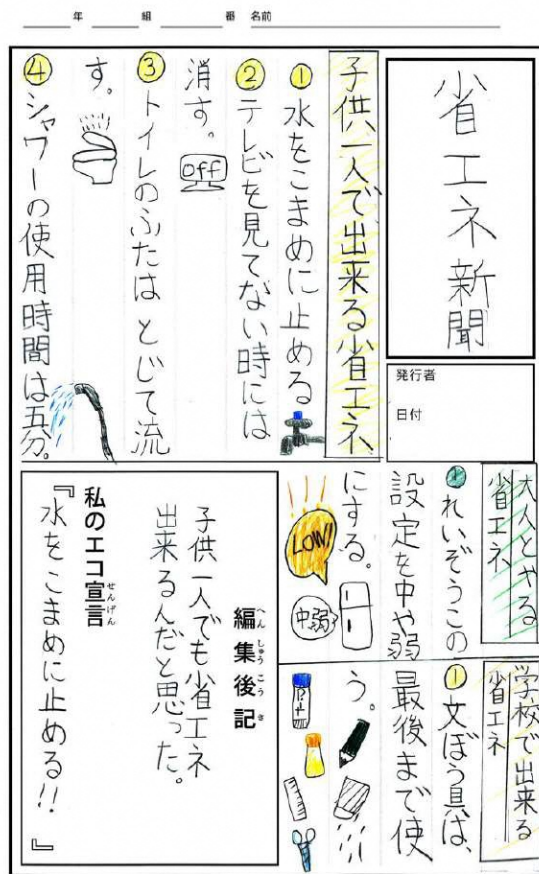
■授業の様子および児童が作成した新聞



座学の様子



新聞発表の様子



4. 結果

4.1 CO₂ 排出量削減実績

市内小学校 3 校、計 205 名の児童が家庭からの CO₂ 削減に 5.1%の効果がある省エネ教育プログラムを受講したことにより、37.6 t の CO₂ 排出量削減効果が得られた。市と各校に対し、以下の CO₂ 排出量削減証書を発行した。

4.2 児童の声にみる取組状況

省エネに基づく自由記述(抜粋)
私は、 省エネをするとたくさんいいことがある から、これから省エネを心がけてみようと思いました。 私のエコ宣言『地球温暖化防ごう』
前から「 地球温暖化 」という言葉は聞いたことはあったけど、 意味を知ったのは初めて でした。地球温暖化の対策＝省エネなので、頑張りたいです。私のエコ宣言『電気をこまめに、これから消します』
この学習を通して、 省エネをしないとしないではCO₂の量が違う ことに気づきました。 私のエコ宣言『見てない時はテレビを消す』
自分の節約で地球にも関係する ことがわかった。だからこれからは電気を今よりも節約する。 私のエコ宣言『お湯は必要な量だけ沸かします』
電気やガスなどを使い過ぎると、「地球温暖化」になって、地球の気温が上がるから、 家族みんなで省エネ行動をしていきたい 。私のエコ宣言『水は必要な時だけ出します。』
この新聞を書いて 自分がやってもやんなくても変わらないと思っていたけど世界全員がそう思っていたら地球温暖化は進むだけだ と思った。私のエコ宣言『使っていない照明は消す』
自分たちのあとに生まれた人たちが、地球に生活するためには、どんなことをしなきゃいけないのか 課題がたくさんあり、これからも環境について考えていかないといけないと思います。私のエコ宣言『少しでも、ゴミの分別をして地球にやさしくしたい！』
地球はだんだんと気温が上がりそして地球温暖化が進んでいるので もっと自分でやれることを見つけたい と思います。私のエコ宣言『使わない部屋の電気を消す！！』
この新聞を書いて、 このままだと地球で暮らせなくなってしまう と思いました。なので、これからは地球に負担をかけないようにエコ活動をたくさんしていきたいです。私のエコ宣言『シャワーを使う時間を 5 分以内にする』
みんながやっているから私はいいやではなくてみんなで 1 つずつなげていこう と思いました。 私のエコ宣言『テレビ洗濯機を省エネモードにする』
省エネをすると企業や家庭にもメリットがある んだなと思いました。省エネに取り組んでいる国ランキングの 1 位にいつか日本がのったらいいなと思いました。私のエコ宣言『プラグをぬいて待機電力をオフ！』
省エネの学習を通して 家族と SDGs について話すことが増えました 。どんなことをしたらいいかわかりました。できることをやっていこうと思います。私のエコ宣言『使っていないコンセントはぬく！』
地球温暖化について学んだことで 省エネ行動をコツコツできるようになり、意識できるようになりました 。 私のエコ宣言『お風呂の設定温度を下げる』

わたしは、省エネ行動をして、みんなにやってほしいなと思いました。ポスターなどを書いてひろめるのもいいなと思いました。私のエコ宣言『ドライヤーを長い時間使わない』
この新聞を書いて僕は未来が心配になりました。石油はなくなれば一生使えません。使い切ってしまったらどうになってしまうのか、だからこそ大切に使いつけないといけないなと思えました。私のエコ宣言『エネルギーを無駄に使わない』
燃料はずっと使えるものだと思ってたけど、そんなにずっと使えない物で、これからは燃料を大事にする行動をとろうと思いました。私のエコ宣言『使わないプラグなどはこまめにぬく！！』
この新聞を作ってエコなことをしたいと思ってエコ・クッキングをしたいと思いました。 私のエコ宣言『水をこまめに止める』
省エネ行動にはいろいろな種類があることがわかった。冷蔵庫には物を詰めすぎずに、設定温度を適切にする事とお風呂に続けて入る事は自分でもできそうな事だったので、これからはやろうと思った。私のエコ宣言『冷蔵庫は詰めすぎず設定温度を適切にする』

5. まとめ

省エネ教育プログラムを導入したことで、受講した児童は勿論のこと、市内の教員、学校、ひいては児童生徒の保護者に至るまで、省エネ意識の向上と行動変容が見られ、市が目指す昭島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の2030年カーボンハーフ実現に向けた一歩となった。

6. 謝辞

本実証の実施に関し、ご協力いただきました昭島市環境部、実践校の先生及び児童の皆様、昭島ガス株式会社に深甚の謝意を表します。

令和 5 年度
「ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラム」

報告書
2024 年 1 月

監修執筆

東京ガス株式会社	都市生活研究所	所長	三神	彩子
		研究員	笹岡	恵梨